

令和6年度

七ヶ宿町教育委員会の事務管理及び

執行状況に関する点検・評価

(令和5年度実施事業)

## 令和5年度 教育委員会会議の開催状況

会議については、原則として毎月1回、教育委員会定例会を開催し必要に応じて臨時会を開催した。会議の内容等は次のとおりである。

| 招集日           | 定例・臨時       | 議案等の内容  |
|---------------|-------------|---|
| 令和5年<br>4月21日 | 第4回<br>定例会  | 報告第4号 一般事務報告について  |
| 5月26日         | 第5回<br>定例会  | 報告第7号 一般事務報告について<br>議案第8号 教員住宅管理規則の一部を改正する規則について  |
| 6月26日         | 第6回<br>定例会  | 報告第8号 一般事務報告について<br>報告第9号 専決事務報告について<br>湯原コミュニティセンター条例の一部改正について<br>報告第10号 専決事務報告について<br>一般会計補正予算について<br>報告第11号 令和6年度使用教科用図書採択基準について<br>議案第9号 令和5年度七ヶ宿町教育委員会の事務管理及び執行状況に関する点検・評価について |
| 7月7日          | 第1回<br>臨時会  | 議案第10号 令和6年度使用教科用図書の採択希望に関する資料について  |
| 7月21日         | 第7回<br>定例会  | 報告第12号 一般事務報告について<br>議案第11号 令和6年度使用用図書の採択調整案について  |
| 8月25日         | 第8回<br>定例会  | 報告第13号 一般事務報告について   |
| 9月26日         | 第9回<br>定例会  | 報告第14号 一般事務報告について<br>報告第15号 専決事務報告について<br>令和5年度教育費関係補正予算について<br>議案第12号 令和5年度教育関係功労者、功績者表彰について   |
| 10月24日        | 第10回<br>定例会 | 報告第16号 一般事務報告について<br>議案第13号 令和6年度特別支援教育を必要とする児童・生徒について<br>議案第14号 令和6年度学校給食費について   |
| 11月22日        | 第11回<br>定例会 | 報告第17号 一般事務報告について   |
| 12月21日        | 第12回<br>定例会 | 報告第18号 一般事務報告について<br>報告第19号 専決事務報告について<br>令和5年度教育費関係補正予算について<br>議案第15号 令和6年度特別支援教育を必要とする児童・生徒について<br>議案第16号 令和6年度学校給食費について  |

|               |            |   |
|---------------|------------|---|
|               |            | 議案第 17号 令和5年度七ヶ宿町教育委員会の事務管理及び執行状況に関する点検・評価について  |
| 令和6年<br>1月24日 | 第1回<br>定例会 | 報告第 1号 一般事務報告について<br>議案第 1号 令和6年度七ヶ宿町教育基本方針（案）について  |
| 2月13日         | 第2回<br>定例会 | 報告第 2号 一般事務報告について<br>議案第 2号 県費負担教職員の任免等の内申について  |
| 3月27日         | 第3回<br>定例会 | 報告第 3号 一般事務報告について<br>報告第 4号 専決事務報告について<br>令和5年度教育費関係補正予算について<br>令和5年度教育費関係予算について<br>報告第 5号 専決事務報告について<br>七ヶ宿町水と歴史の館条例の一部改正について<br>議案第 3号 いじめ問題専門委員の人事について<br>議案第 4号 七ヶ宿町学校給食共同調理場運営委員の人事について<br>議案第 5号 七ヶ宿町社会教育委員の人事について<br>議案第 6号 七ヶ宿町文化財保護委員の人事について<br>議案第 7号 七ヶ宿町スポーツ推進委員の人事について<br>議案第 8号 教育委員会事務局職員及び関係機関の人事について |

七ヶ宿町教育委員会の事務管理及び執行状況に関する点検・評価の方針について

## 1 趣旨

- (1) 七ヶ宿町教育委員会は、七ヶ宿町の教育基本方針に基づく具体的施策や年度ごとの優先 事項の実施状況について点検及び評価を行い、課題や今後の改善方針を明らかにするとともに効率的かつ効果的な教育行政の推進を図る。
- (2) 点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、町民に対し説明し、信頼される教育行政の推進に努める。

## 2 実施方法

- (1) 教育基本法に基づく、具体的な施策や優先事項を対象として点検及び評価を実施する。
- (2) 点検及び評価については、施策及び事業の総括を行うとともに、課題や改善策等を明確にする。
- (3) 点検及び評価については毎年1回実施する。
- (4) 点検及び評価については、学識経験者等の意見を聴取したうえで教育委員会がまとめる。
- (5) 点検及び評価に関する報告書を作成し、町議会に提出するとともに町民に公表する。

## 点 検 ・ 評 価 の 構 成

### 1 点検・評価項目

#### (1) 教育委員会の活動状況の点検・評価

今年度の活動についての自己点検・自己評価を行い、今後の課題と対応策をまとめる。

#### (2) 教育委員会事務局の活動状況の点検・評価

優先事項や事業等の今年度の取り組み内容の点検及び課題の整理を行い、自己点検・自己評価を行う。

### 2 学識経験者による外部評価

#### (1) 外部評価委員会

日時 令和6年11月20日 午前10:00から 会場 七ヶ宿町開発センター

#### (2) 外部評価委員

|      |   |      |        |
|------|---|------|--------|
| 氏名   | 高橋典士  | 年齢一歳 | 柴田町在住  |
| 主な経歴 | 七ヶ宿町立七ヶ宿中学校校長 亙理町立吉田中学校校長<br>村田町立第二小学校長 宮城県社会教育協会大河原支部委員 ほか |      |        |
| 氏名   | 柏進  | 年齢一歳 | 七ヶ宿町在住 |
| 主な経歴 | 七ヶ宿町教育委員 七ヶ宿町グラウンド・ゴルフ協会副会長 ほか                              |      |        |

## 教育委員会の状況点検・自己評価

○教育委員会の会議の現状 (A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

| No. | 項 目                            | 評価 | 課題・対応策等                        |
|-----|--------------------------------|----|--------------------------------|
| 1   | 十分な議論を行える回数や時間を確保しているか。        | A  | 会議では自由に話ができており、回数も十分である。       |
| 2   | 適宜議論ができるよう会議を開催しているか。          | A  | 基本的に会議は月1回であるが、事に合わせて柔軟に行っている。 |
| 3   | 委員が意志決定できるよう十分な情報を事務局が提供しているか。 | A  | 会議資料の提示を求め、十分な情報の提供がある。        |
| 4   | 委員が問題点を指摘し、積極的に発言しているか。        | A  | 不明な点、疑問な点はその都度質問しその解答を得ている。    |
| 5   | 七ヶ宿町の教育基本方針についての話し合いがなされているか。  | A  | 毎年変更点などの説明を受けている。              |

### 外部評価者の意見

- ・会議については充実した内容で取り組んでおり、更に良いものにしていただきたい。
- ・今年度も全ての項目でA評価であり、今後も継続されたい。
- ・どのような話題が出ているのか、公表しても良いものがあれば公表してみてもどうか。

○教育委員会の会議以外の現状

| No. | 項 目   | 評価 | 課題・対応策等  |
|-----|---|----|--|
| 1   | 委員が幼児・児童・生徒及び教職員と接する機会を持っているか。                    | A  | 年2回、保育所、小中学校訪問を行い、園児や児童生徒及び教職員と接する機会を持っている。  |
| 2   | 教育委員会活動について周知広報しているか、また情報収集に努めているか。               | B  | 教育委員会の事務管理及び執行状況に関する点検・評価結果等についてはホームページで公表しているが、教育委員会活動については、Instagramで広報はしたものの閲覧者数は少ない。 |
| 3   | 教育課題等についての情報や資料提供したり、近隣の教育委員会や関係機関との連携を図ったりしているか。 | B  | コロナ前の状態に戻りつつあるが、他市町村の情報や委員と連携を図る機会がまだ少ない。  |

### 外部評価者の意見

- ・学校訪問を通して、学校からの要望や課題等について率直な意見を聞く場としていただきたい。
- ・教育委員会の活動については、Instagramで広報をしているようだが、継続的に実施していただきたい。

## 教育委員会事務局の活動状況・自己点検

|     |
|-----|
| 事務局 |
|-----|

### 1 学校教育

#### (1) 優先事項

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

| No. | 項 目   | 評価 | 課題・対応策等  |
|-----|---|----|--|
| 1   | 学習指導要領の趣旨を踏まえ、地域の特性を活かした教育課程の編成に取り組む。                                     | B  | 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められていることから、PDCAによるカリキュラムマネジメントの重要性を認識し、その定着を更に進めたい。   |
| 2   | 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核として地域、保護者と共に学校づくりを推進する。                             | A  | 学校を主体とした学校運営協議会の基盤が構築され、学校運営協議会が開催された。小中学校では、協議会で掲げた「あいさつと読書活動」の推進を図っている。引き続き、学校・家庭・地域が一体となった協議会の運営を図り、「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。   |
| 3   | 小学生を対象にした夏季休業中の寺子屋事業と、中学生を対象にタブレットを活用したオンラインによる学習支援を行う。                   | A  | 小学生を対象にした寺子屋事業は、机上学習のみではなく視聴覚教材センターの協力を受け、体験学習も実施していることから有益な事業であり継続して実施していきたい。中学生を対象にした学習支援は、オンラインで実施しているが、生徒個々のレベルにあった学習支援となっており、学習理解度の向上と、オンラインツールを活用したコミュニケーション能力の向上にもつながっている。引き続き学力の向上を図るために継続したい。 |
| 4   | 志教育の理念のもと、将来の夢と志の実現に向けて自主的・自立的に行動する児童生徒を育成する。また、総合的な学習における実践的な学びの成果を発信する。 | A  | 総合的な学習の時間や行事などを利用し地域との連携・協働による実践的な学びを展開している。自主的・自立的に行動する児童生徒の育成に取り組み、活動の成果として小学校では授業参観等で、中学校では総合学習発表会を開催し、保護者に対して実践的な学びの成果を発表する機会を設けている。   |
| 5   | 児童生徒の国際化社会への適応、コミュニケーション能力を培うため、小学校1年生からの外国語（英語）活動を推進する。                  | A  | 保育所においてもALTに触れあう機会を設け、小学校1年生からは外国語活動を取り入れることで外国語に慣れ親しむ教育の推進が図られている。引き続き、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高め、外国語によるコミュニケーション能力の向上、中学校の英語授業へのスムーズな接続が図られるよう充実させていく。   |
| 6   | GIGAスクール構想におけるICT（タブレット端末、デジタル教科書等）を効果的に活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる。    | A  | GIGAスクール構想のもと児童生徒1人1台の学習者用端末を、授業はもとより家庭学習や校外学習等での活用も図られた。ICTを活用した授業の充実や、児童生徒の学習理解や意欲にも効果が見られた。引き続きICT機器が効果的に活用されるよう研修を行い、教員のICT活用指導力の向上に努めたい。  |

## 小中学校の活動状況・自己点検

七ヶ宿小学校

### 1 学校教育

#### (1) 優先事項

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

| No. | 項 目  | 評価 | 課題・対応策等  |
|-----|--|----|--|
| 1   | 学習指導要領の趣旨を踏まえ、地域の特性を活かした教育課程の編成に取り組む。  | B  | PDCAサイクルでのカリキュラムマネジメント、教育課程地区研究協議会の内容伝講、地域の教育資源活用、学校運営協議会での協議等をもとに、社会に開かれた教育過程の編成を目指している。  |
| 2   | 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核として地域、保護者と共に学校づくりを推進する。  | A  | 年3回の学校運営協議会を開催し、学校経営方針や教育課程の編成について、委員の意見や助言をもらい学校経営に反映させている。また、学校だよりやマスコミを通じて、学校の取組を地域へ情報発信している。   |
| 3   | 小学生を対象にした夏季休業中の寺子屋事業と、中学生を対象にタブレットを活用したオンラインによる学習支援を行う。  | A  | 寺子屋事業に多くの児童が参加し、夏季休業中の児童健全育成の一助となっている。ジュニアリーダーとの関わりが、児童にとっての年配者への憧れを生み、奉仕の心を養っている。   |
| 4   | 志教育の理念のもと、将来の夢と志の実現に向けて自主的・自立的に行動する児童生徒を育成する。また、総合的な学習における実践的な学びの成果を発信する。                                    | B  | 「かかわる」「もとめる」「はたす」の視点での目標を明確にししながら、各教科や学校行事での指導を継続している。総合的な学習の時間では、地域素材を活用しながら探究的な活動を実現することができている。  |
| 5   | 児童生徒の国際化社会への適応、コミュニケーション能力を培うため、小学校1年生からの外国語（英語）活動を推進する。   | A  | 3～6学年は、英語専科教員とALTによる授業を通してコミュニケーション能力の素地を育てている。さらに、5・6学年では、書く活動やタブレット端末の活用を取り入れ、表現力の向上に取り組んでいる。1・2学年では、年間35時間の外国語活動を行い、英語に慣れ親しむ機会を確保している。          |
| 6   | GIGAスクール構想におけるICT（タブレット端末、デジタル教科書等）を効果的に活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる。                                       | A  | タブレット端末の活用により、活動の振り返り、習熟活動、表現活動等の活性化を図ることができ、個別最適な学びと協働的な学びの推進につながっている。デジタル教科書の活用により、学習教材の視覚化を図ることができ、学習内容や児童の思考の共有化につながっている。                      |
| 7   | 保・小・中学校間における連携を一層推進し、連続性のある教育の実現と積極的に情報を発信し、地域に開かれた信頼される学校を目指すと共に、自慢の学校づくり推進事業の活用による、七ヶ宿ならではの特色ある学校づくりを推進する。 | A  | 保小連携としてのムーブメント教室、小中連携としてのわらじで歩こう七ヶ宿や町民体育大会、出前授業を実施し、保小中のつながりを目指した取組を推進することができている。また、自慢の学校づくり推進事業を活用し、地域教育資源を活用した体験活動や総合的な学習の時間での探究活動を実現することができている。 |

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿小学校

| 項 目                      | 取組方針                      | 評 価 | 実施状況・課題   | 対 応 等  |
|--------------------------|---------------------------|-----|---|--|
| 1 確かな学力の育成               |                           |     |   |  |
| 1) 特色ある教育課程の編成と<br>確実な実施 | 【地域の特性を踏まえた<br>教育課程の編成】   | A   | 地域素材を生かした学習、学校行事を計画<br>することができている。地域との関わりが、<br>児童の健全育成につながっている。 | 今後も地域の協力を得ながら児童を育てる<br>取組を推進する。  |
| 2) 指導方法の工夫・改善            | 【分かる、できる授業の展開】            | B   | 「七ヶ宿小・中学校学習スタンダード」を<br>意識した授業づくりを進めている。                         | 振り返り活動まで1単位時間の中に盛り込<br>み、児童の意欲と課題意識の高揚につなげる<br>よう指導計画を工夫する。                |
|                          | 【基礎・基本の確実な定着と<br>探究型学習活動】 |     | 総合的な学習の時間では、体験をもとに探<br>究する学習を展開しているが、机上の調べ学<br>習で終わる場面がある。      | 探究型の学習活動を展開していく中で生ま<br>れる疑問や課題の解決方法や情報収集につい<br>て、適切に支援できるように計画していく。        |
|                          | 【少人数を生かした<br>指導法の工夫】      |     | 少人数学級の利を生かして、授業中におけ<br>る実態把握と形成的評価を行っている。                       | 少人数だからこそできる学び合いの在り方<br>について校内研究を通して実践していく。                                 |
|                          | 【きめ細かな補充学習の<br>充実と発展的な学習】 |     | 授業内で個に応じながらの指導を展開して<br>いるが、発展的な学習への対応がやや難しい<br>状況である。           | タブレット端末でのドリル問題等を活用し<br>ながら、個に応じた指導を展開する。                                   |
|                          | 【授業改善】                    |     | 自分で考え判断しながら問題解決できるよ<br>うな授業づくりをさらに推進する必要がある。                    | 授業の相互参観や校内研究を重視しながら<br>教員の授業力向上を図る。児童への問い返し<br>などを取り入れなら、児童が自ら考える力を<br>養う。 |
|                          | 【家庭との連携による<br>家庭学習の習慣化】   |     | 「家庭学習の手引き」の活用を通して、家<br>庭学習の習慣化を図っている。                           | より一層の習慣化を図るために、週末にも<br>学年の実態に応じた課題に取り組んでいく。<br>タブレット端末のドリル問題の活用を図る。        |



## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿小学校

| 項 目       | 取組方針                     | 評 価  | 実施状況・課題   | 対 応 等  |
|-----------|--------------------------|--|---|--|
| 2 豊かな心の育成 |                          |  |   |  |
|           | 【道徳教育の充実】                | B  | 道徳の時間においては、教科書を軸にした指導計画のもと確実に実践している。                        | 道徳授業を核として、自己を振り返り、将来の自己形成を図れるよう授業改善を図る。                  |
|           | 【好ましい人間関係の醸成】            |  | 学校行事、清掃活動、給食活動等、日常場面での縦割り活動を通して、思いやりの心、所属意識、奉仕の心が育っている。     | 今後も、縦割り活動を継続し、学校教育目標「やさしく」の具現化を図る。                       |
|           | 【志教育の推進】                 |  | すべての教育活動に「志教育でめざす児童の姿」を設定し、教職員の意思化を図りながら実践している。             | 諸活動と志教育の関連性を意識しながら指導を重ねる。                                |
|           | 【キャリア教育の充実】              |  | キャリアパスポートを活用し、1年間の成長を振り返る機会を設けている。                          | 年度初めの目標設定、年度終わりの振り返り場面を設定し、児童の意識化を図る。                    |
|           | 【家庭と連携した基本的生活習慣・規範意識の形成】 |  | 保健日より、学校だよりを通して、家庭に「早寝早起き朝ごはん」等の啓発を図っている。                   | メディア、ゲームに触れる時間が多い実態がある。実態を諸文書、懇談会等で保護者へ伝え、よりよい生活習慣形成を図る。 |
|           | 【生徒指導の校内体制と関係諸機関との連携】    |  | 週1回の定例打合せで、生徒指導関係の共通理解を図っている。課題のある児童について、関係機関と連携しながら対応している。 | 情報共有については、タイムリーな話題を共通理解し、対応を検討することができており、今後も継続していく。      |
|           | 【国際理解教育の推進】              |  | 外国語、外国語活動の全授業時間で専科教員とALTによるチームティーチングを実施している。                | 国際理解教育を更に進めるために、授業時間内に外国文化を紹介する機会を増やす。                   |
|           | 【体験的活動等による豊かな感性と行動力の育成】  |  | 地域の農業や産業の体験、地域との触れ合い体験等、様々な体験的な活動を行い、豊かな感性が育まれている。          | 今後もねらいを明確にして体験的な活動を継続していく。                               |
|           | 【情報教育・環境教育・福祉教育・人権教育の推進】 |  | 一人一台導入のタブレット端末を活用し個別最適な学び、協働的な学びの実現へ向け、活用場面を検討しながら実践している。   | タブレット端末の活用場面と方法の模索、家庭学習での活用法の検討を進めていく。                   |
|           | 【愛郷心の育成と地域人材の活用】         | 地域人材のリストを作成しており、適材適所で、地域人材の活用を図っている。また、リストの更新も行っている。 | 今後も、地域の方々の協力を得て、学校と地域が連携した活動を行っていく。                         |  |

## (2) 具体的な施策

(A : よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

セヶ宿小学校

| 項 目                         | 取組方針                 | 評 価 | 実施状況・課題  | 対 応 等  |
|-----------------------------|----------------------|-----|--|--|
| 3 健やかな身体の育成                 |                      |     |  |  |
|                             | 【健康・安全教育の充実と食育教育の推進】 | A   | 毎給食後に一斉歯磨き指導をしている。また、チャレンジ弁当作り、給食メッセージ等による食育指導を行っている。          | 今後も取組を続けていくとともに、家庭へ積極的に啓発していく。                             |
| 4 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の展開 |                      |     |  |  |
|                             | 【特別支援教育の充実のための体制整備】  | A   | 配慮を要する児童について、校内で共通理解が図られている。また、特別支援連携協議会を通して、保・小・中の連携体制もできている。 | 特別支援連携協議会におけるコーディネーター同士の情報共有を密にし、より良い体制整備を図る。              |
|                             | 【特別支援教育の教育課程の編成】     |     | 児童個々の特性に基づいた個別の支援計画と指導計画を作成し、指導を進めている。                         | 学期、年間の指導の評価を行い、個別の支援計画と指導計画の見直しを図る。                        |
|                             | 【共に学ぶ場の環境づくり】        |     | 交流学級と共に学ぶ時間を最大限に確保している。  | 今後も児童の実態に応じて、保護者の理解を得ながら交流学級での学びを継続していく。                   |
| 5 崇高な使命を自覚し指導力ある教職員の育成      |                      |     |  |  |
|                             | 【教職員の人格の陶冶と指導力の向上】   | B   | 教職員の研修への取組は積極的だが、学校行事、対外的な会議・出張が過密であるため、ゆとりある充実した研修が行えていない。    | 学校行事、校務の精選を図り、研修や教材研究の時間を確保できるよう工夫する。                      |
|                             | 【実践的研究の推進と積極的な授業公開】  |     | 研究授業の機会に町内各所・校にも参観を呼び掛け、積極的な授業公開を行っている。                        | 今後も可能な限りの授業公開を継続し、参加後の意見や感想を集めることで、その後の実践に役立てていく。          |
|                             | 【充実した校内研修の計画と実施】     |     | 体育科の校内研究により、課題解決のための思考力向上、交流活動の推進に取り組み、授業改善を図っている。             | ICT活用を取り入れ自己の活動を振り返ることで課題発見につながっている、さらに、交流活動の進め方の課題改善に努める。 |
|                             | 【関係諸機関を活用した教職員の資質向上】 |     | 校内研修推進、ICT活用力向上のため、外部講師を招聘し、研修会を開催している。                        | 本校職員に必要な研修内容を見極めた上で、関係機関を活用した研修を計画する。                      |
|                             | 【職員評価制度の有効活用】        |     | 職員評価制度の実施方法に従って、教職員一人一人が自身の実践について適切に評価している。                    | 人材育成の視点での目標設定、評価を今後も継続する。                                  |
|                             | 【職員コンプライアンスの体制の推進】   |     | 4月と10月にコンプライアンスチェックシートの記入を全職員が行い、適宜面談を実施している。                  | 職員の現状を聞くよい機会となっている。今後も継続する。                                |

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

セヶ宿小学校

| 項 目                       | 取組方針                           | 評 価 | 実施状況・課題  | 対 応 等   |
|---------------------------|--------------------------------|-----|--|---|
| 6 学校、家庭、地域の協働による開かれた学校の推進 |                                |     |  |   |
|                           | 【学校・家庭・地域の役割遂行と相互協力による学校教育の充実】 | B   | P T A総会、全体会において学校経営方針の説明を行い、家庭との相互協力を推進している。                     | 学校経営について明確なビジョンを示し、家庭からの協力を得られるようにする。                 |
|                           | 【適切な情報提供と説明責任を果たす信頼される学校づくり】   |     | 内部評価、学校関係者評価を実施し、その結果と対策の開示等で説明責任を果たしている。                        | 学校経営状況について、学校評価反省会等で振り返り、その結果や改善策について、学校だより等で丁寧に説明する。 |
|                           | 【人的・物的両面にわたる開かれた学校の推進】         |     | 年3回の学習参観、各種行事の参加や参観の機会を設定し、児童の様子や活動の概要を高い頻度で公開している。              | 参観や参加しての保護者の感想を集め、教育活動の工夫改善につなげていく。                   |
|                           | 【P T A活動の活性化】                  |     | P T A会員が、積極的に活動できるような行事を計画している。                                  | P T A役員が中心となり、会員自身が、行事等の企画・立案をしていくことができるように支援していく。    |
|                           | 【地域活動への参画意識の啓発】                |     | P T A実行委員との連携を図り、学校と保護者が共通理解を図った上で、地区子ども会活動の運営が進んでいる。            | 学校と地域の連携を密にしなが、今後の子ども会活動の在り方について、検討を進める。              |
|                           | 【地域住民に対する学校の持つ教育機能の活用】         |     | 地域の方々の学びが小学校での教育活動に還元されている。それが地域の方々の一つの発表の場となっている。               | 地域の方々の学校への協力が、地域の方々のやりがいや生きがいにつながるようにする。              |
|                           | 【学ぶ土台づくりの推進】                   |     | 保小連携として、ムーブメント教室を開催している。また、1年生を対象としたスタートカリキュラム活用を図っている。          | 年長組の年度末の取組を知り、入学後の指導に生かせるよう、スタートカリキュラムの見直しを図る。        |
| 7 安全・安心で魅力ある学習環境の整備       |                                |     |  |   |
|                           | 【快適で魅力ある学習環境】                  | B   | 各教室のエアコンの活用により、夏場においても快適な学習環境を保つことができている。                        | 特別教室においても同様の環境があれば、より快適な学習環境が整備できる。                   |
|                           | 【危機管理マニュアルの整備】                 |     | 既存マニュアルの有効性を確認しながら、対応を検討している。                                    | マニュアルの見直しを行い、より実態に合わせたマニュアルを整備する。                     |
|                           | 【地域と連携した安全な環境整備】               |     | 日頃の登下校指導、スクールバス乗車指導など、教職員が臨機応変に対応している。                           | スクールガード、見守りボランティアなどの組織があれば、より安全な環境整備が図られる。            |
|                           | 【学校施設整備の充実】                    |     | 毎月1回の安全点検を実施している。施設・設備の老朽化に伴う破損・交換等については、適時教育委員会に報告し、対応してもらっている。 | 必要に応じて施設・設備等の修繕・整備について要望をしていく。                        |

## 小中学校の活動状況・自己点検

七ヶ宿中学校

### 1 学校教育

#### (1) 優先事項

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

| No. | 項 目  | 評価 | 課題・対応策等  |
|-----|--|----|--|
| 1   | 学習指導要領の趣旨を踏まえ、地域の特性を活かした教育課程の編成に取り組む。  | A  | 校長のリーダーシップの下、教育課程編成委員会や研修会を開催し、今年度の学校評価アンケート（保護者・教職員）の結果を精査し、次年度の教育課程編成に取り組んだ。評価結果に関しては、研修会を開催して共通理解を図りながら行った。   |
| 2   | 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核として地域、保護者と共に学校づくりを推進する。  | A  | 学校運営協議会を年3回実施することができた。学校運営協議委員の方々から忌憚のないご意見をいただき、より良い学校と地域との連携、地域、保護者と共に学校づくりについて協議することができた。   |
| 3   | 小学生を対象にした夏季休業中の寺子屋事業と、中学生を対象にタブレットを活用したオンラインによる学習支援を行う。  | B  | 中学生を対象としたオンライン学習塾について、受講希望者と指導者との面談を学校で行うなど協力体制を整えることができた。また、不登校生徒への学習支援としても効果があった。  |
| 4   | 志教育の理念のもと、将来の夢と志の実現に向けて自主的・自立的に行動する児童生徒を育成する。また、総合的な学習における実践的な学びの成果を発信する。                                    | A  | 町内外の事業所が職場体験を快く承諾していただき、1年生は町内で、2年生は町外での職場体験を実施できた。また、3年生は東京修学旅行を実施し、様々な職業を見学し、自分の将来を考えることができた。総合学習発表会において学習の成果を発表した。  |
| 5   | 児童生徒の国際化社会への適応、コミュニケーション能力を培うため、小学校1年生からの外国語（英語）活動を推進する。   | B  | 外国語（英語）ではALTを積極的に活用し、「話すこと」に時間をかけた授業展開をすることで、コミュニケーション能力の向上を目指した。また、自慢の学校づくり予算を活用した英語検定受検を推進し、外国語に対する興味・関心を高めた。  |
| 6   | GIGAスクール構想におけるICT（タブレット端末、デジタル教科書等）を効果的に活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる。                                       | A  | GIGAスクール構想端末活用研修会やICT利活用研修会を数回開催していただき、タブレットを活用した授業に方法について学ぶことができた。授業でも積極的に実践し、分かる授業への授業改善につながった。  |
| 7   | 保・小・中学校間における連携を一層推進し、連続性のある教育の実現と積極的に情報を発信し、地域に開かれた信頼される学校を目指すと共に、自慢の学校づくり推進事業の活用による、七ヶ宿ならではの特色ある学校づくりを推進する。 | A  | 特色ある学校づくりを推進するために、自慢の学校づくり推進事業を活用した全生徒の漢字検定、英語検定の受検を推奨した。さらに読書推進活動として、生徒一人一冊読みたい本を購入し、知見を広げ、人間性を高めることをねらいとした活動を行った。また、公式facebookにより、日常の学習の様子を発信し、様々な方から生徒を応援する声をいただいた。 |

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿中学校

| 項目                       | 取組方針                      | 評価 | 実施状況・課題  | 対応等   |
|--------------------------|---------------------------|----|--|---|
| 1 確かな学力の育成               |                           |    |  |   |
| 1) 特色ある教育課程の編成と<br>確実な実施 | 【地域の特性を踏まえた<br>教育課程の編成】   | A  | 職場・生産者訪問、職場体験学習、わらじで歩こう七ヶ宿等本校ならではの特色ある教育課程を工夫して実施できた。  | 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、制限されてきた教育活動を再開できたが、今後はいかに効果的な行事にしていくかを教育課程の編成で検討していく。  |
| 2) 指導方法の工夫・改善            | 【分かる、できる授業の展開】            | A  | 単元学習シートを活用して授業の振り返りを行い、教師が励ましの言葉を記入して基礎・基本の確実な定着を図っている。<br>数学は全学年TT授業を行い、少人数を生かした指導法の工夫に努めている。また、一人一台のタブレットを活用した、探求型の学習活動を取り入れている。 | 単元学習シートには、生徒が記入した振り返りを基に教科担任が一人一人に合った励ましやコメントを記入することで、生徒の学習状況の把握と基礎・基本の確実な定着につなげられるように今後も努める。<br>「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を目指したICT活用について、職員会議で共通理解を図り、校内研究授業等で実践を積み重ねながら、有効に活用できるように今後も研修を図っていく。 |
|                          | 【基礎・基本の確実な定着と<br>探究型学習活動】 |    |  |   |
|                          | 【少人数を生かした<br>指導法の工夫】      |    |  |   |
|                          | 【きめ細かな補充学習の<br>充実と発展的な学習】 |    |  |   |
|                          | 【授業改善】                    |    |  |   |
|                          | 【家庭との連携による<br>家庭学習の習慣化】   |    |  |   |
|                          |                           |    | 定期考査前の放課後学習会の実施を通して、学習意欲の向上と学力向上に努めている。<br>指導主事学校訪問や校内研究の提案授業を通して、指導主事による指導助言や事後検討会において成果と課題を確認し、教員の指導力向上を図り授業改善に努めている。            | 毎日、やりとり帳を活用して本人の生活や学習の状況を把握し、授業の際に事例をあげて生徒に声掛けを行っていく。<br>毎月の振り返り等を利用して、担任、学年主任が学習相談やチャンス相談を定期的に行い学習意欲の向上に取り組む。  |
|                          |                           |    | 週に一度の記述式問題を宿題にするなど、学年の実態に応じた課題を出題し、保護者と連携して毎日の家庭学習の習慣化に取り組んでいる。  | 学校だよりや学年・学級通信等から学校での様子を家庭に伝え、学校と家庭が連携して生徒の学力向上につながるようベクトルを合わせていく。   |

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿中学校

| 項目        | 取組方針                      | 評価   | 実施状況・課題  | 対応等  |
|-----------|---------------------------|--|--|--|
| 2 豊かな心の育成 |                           |  |  |  |
|           | 【道徳教育の充実】                 | A  | 道徳推進教師を中心に、年間指導計画に基づいて計画的に実施した。また、時間割を調整して担任同士が互いの授業を見合うことができるようにしている。                       | 「道徳ココログノート」を活用して、生徒の意見や感想を累積して、生徒一人一人が自己有用感を実感できるようにしていく。<br>「みやぎの先人集」を年間指導計画にも位置付けて、授業実践と評価を累積していく。 |
|           | 【好ましい人間関係の醸成】             |  | 朝、帰りの会、給食、休み時間、各種行事を利用して、好ましい人間関係が構築できるように取り組んでいる。   |  |
|           | 【志教育の推進】                  |  | 1年生は町内の職場・生産者訪問、2年生は町外での職場体験を行った。地域の課題について学んだり、働くことの意義について学ぶ機会を得ることができた。                     | 職場体験や地域で働く方の話を聞くことで、キャリア教育の充実を図り、社会的・職業的自立に向け、基盤となる能力や態度の育成を今後も取り組んでいく。                              |
|           | 【キャリア教育の充実】               |  |  |  |
|           | 【家庭と連携した基本的な生活習慣・規範意識の形成】 |  | 授業参観や教育相談等で来校した際、生徒について情報交換を行い、基本的な生活習慣の定着や家庭内での約束等を確認し、生徒の健全育成に取り組むことができた。                  | 非行防止教室の実施やSNSの利用についての啓発活動を行い、生徒、保護者と学校と共通理解を図っていく。   |
|           | 【生徒指導の校内体制と関係諸機関との連携】     |  | 毎月の振り返りを中心に日頃から生徒指導主事や教育相談担当教師が担任と連絡を取り合っている。また、6月までにSCとの面談を実施して生徒支援に当たっている。                 | 生徒の些細な変化や異変に気付くために、常に関係者と連携を図っていく。何かあれば、校長に報告すると同時に、組織で対応していく。                                       |
|           | 【国際理解教育の推進】               |  | ALTとの交流や各教科の学習を通して、異文化理解、国際理解を図り、互いの文化を尊重する態度を育成している。  | ALTと担当教師との間で共通理解を図りながら今後も授業等に臨んでいく。  |
|           | 【体験的活動等による豊かな感性と行動力の育成】   |  | 1年生の職場・生産者訪問や七ヶ宿PR活動、2年生の南三陸校外学習や町外での職場体験、3年生の東京方面修学旅行を実施することができ、地域の良さや豊かな感性と行動力を育成することができた。 | 行事のねらいをより明確にし、事前、当日、事後指導を行っていくことで、豊かな感性と行動力の育成を図っていく。  |
|           | 【情報教育・環境教育・福祉教育・人権教育の推進】  |  | 学校花壇の整備や学校敷地周辺の地域清掃を行い、環境整備の関心を高めた。また、NO!ぼっち手紙運動に参加し、社会福祉事業について理解と関心を深めた。                    | 学校評価アンケートを行い、成果と課題を共有して、次年度の計画に生かしていく。   |
|           | 【愛郷心の育成と地域人材の活用】          | 開校記念集会では七ヶ宿中学校の卒業生を招いて講話をしていただいた。地域に対する思い等を共有し、愛郷心の育成と地域人材の活用を図っている。 | ゲストティーチャーを招くだけでなく、体験学習や地域行事に積極的に参加しながら愛郷心を育むことを今後も実施していく。                                    |  |

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿中学校

| 項目                          | 取組方針                 | 評価 | 実施状況・課題  | 対応等  |
|-----------------------------|----------------------|----|--|--|
| 3 健やかな身体の育成                 |                      |    |  |  |
|                             | 【健康・安全教育の充実と食育教育の推進】 | A  | 毎月11日を「安全・防災学習の日」と定め、地震や火災等の非常時の行動について訓練を行い、日頃から意識を高めることができた。              | 食育教育について、栄養教諭から毎日の献立についての紹介や、訪問の際に講話をいただくことを通じて食育教育の充実にも努める必要がある。  |
| 4 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の展開 |                      |    |  |  |
|                             | 【特別支援教育の充実のための体制整備】  | A  | 特別支援コーディネーターを中心に職員会議等で情報を共有し、生徒一人一人に合った教育の充実を図っている。                        | 特別支援学級の生徒について、職員の中で共通理解、共通行動をできるようにするとともに、小・中連絡会での情報交換、連携をしっかりと、遺漏のないようにすることが大切である。また、通常学級の生徒においても本人の特性を把握し、個別の支援につなげるようにしていく。 |
|                             | 【特別支援教育の教育課程の編成】     |    |  |  |
|                             | 【共に学ぶ場の環境づくり】        |    |  |  |
| 5 崇高な使命を自覚し指導力ある教職員の育成      |                      |    |  |  |
|                             | 【教職員の人格の陶冶と指導力の向上】   | A  | 目標達成度評価や資質能力評価等の人事評価シートを活用して、教職員の人格の陶冶と指導力の向上に努めている。                       | 教職経験年数や校務分掌に応じた研修会や研究会に積極的に参加させ、資質向上を今後も図っていく。   |
|                             | 【実践的研究の推進と積極的な授業公開】  |    |  |  |
|                             | 【充実した校内研修の計画と実施】     |    |  |  |
|                             | 【関係諸機関を活用した教職員の資質向上】 |    |  |  |
|                             | 【職員評価制度の有効活用】        |    |  |  |
|                             | 【職員コンプライアンスの体制の推進】   |    |  |  |
|                             |                      |    | 七ヶ宿町小・中学校統一の「七ヶ宿町スタンダード」や県の「学力向上に向けた5つの提言」を活用して校内研究のねらいの達成に向けた授業づくりを行っている。 | フリー参観週間の実施や、近隣の学校に授業公開の案内等を行い、授業力向上を意識した実践を積極的に行う。   |
|                             |                      |    | 県総合教育センターや県大河原教育事務所が実施する研修会等に積極的に参加して、教職員の資質向上を図っている。                      | 年度初めに研修会開催の内容を回覧し、積極的に受講するよう促す。  |
|                             |                      |    | 学校教育目標の具現化を念頭において、職員評価制度を活用し、教員の資質能力の向上に向けて自己目標の達成に取り組むことができた。             | 年度当初、中間評価等で校長、教頭との面談を行い、自己目標の達成度を確認していく。教職経験年数や校務分掌に応じた研修会や研究会に参加して、資質向上を図っていく。  |
|                             |                      |    | 上半期、下半期の2回、そして奇数月に行うコンプライアンスチェックシートを活用して、コンプライアンスの体制を整えることができた。            | 年度当初にマニュアルを配布して周知を図ると同時に、日頃からの意識付けを徹底する。   |

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

七ヶ宿中学校

| 項 目                       | 取組方針                           | 評 価 | 実施状況・課題  | 対 応 等  |
|---------------------------|--------------------------------|-----|--|--|
| 6 学校、家庭、地域の協働による開かれた学校の推進 |                                |     |  |  |
|                           | 【学校・家庭・地域の役割遂行と相互協力による学校教育の充実】 | A   | 校長が掲げる学校教育目標の具現化に向けて、学校、家庭、地域の役割の重要性を確認し、学校教育の充実を図ることができた。                     | 学校評価アンケートを実施し、その成果と課題を公表し、次年度の計画に生かす。                  |
|                           | 【適切な情報提供と説明責任を果たす信頼される学校づくり】   |     | 年2度の父母教師会総会や授業参観後の全体会、学校によりや学年・学級通信を通して学校からの説明や情報提供を積極的に行うことで信頼される学校づくりに力を注いだ。 | 公式Facebookの随時更新や一斉メール配信を含めた適切な情報提供を今後も行う。              |
|                           | 【人的・物的両面にわたる開かれた学校の推進】         |     | 学校運営協議会の開催や、地域の人材を積極的に活用することで、開かれた学校の推進を図ることができた。                              | コロナ禍以前の学校行事にもどすだけでなく、より効果的な形で地域の人材を活用し、地域行事への参加を行っていく。 |
|                           | 【PTA活動の活性化】                    |     | 保護者の学校への関わりを意識してもらうために、PTA役員、学年委員長合同会議を開催し、PTA活動の活性化に努めることができた。                | 学校評価アンケートを実施し、その成果と課題を公表し、次年度の計画に生かしていく。               |
|                           | 【地域活動への参画意識の啓発】                |     | 町の行事予定表を職員に回覧し、職員の地域活動への意識を高めると同時に行事への参加を働きかけることができた。                          | 学校評価アンケートから成果と課題を把握し、次年度以降の地域活動への参画を促していく。             |
|                           | 【地域住民に対する学校の持つ教育機能の活用】         |     |  |  |
|                           | 【学ぶ土台づくりの推進】                   |     |  |  |
|                           |                                |     |  |  |
| 7 安全・安心で魅力ある学習環境の整備       |                                |     |  |  |
|                           | 【快適で魅力ある学習環境】                  | A   | 学習情報が校舎内の様々なところで目に入るよう、掲示物を充実させた。  | 生徒達が一目見て関心を高められるような掲示物を作成し、学習環境を整備していく                 |
|                           | 【危機管理マニュアルの整備】                 |     | 毎年、危機管理マニュアルの見直しを図り、職員の周知徹底を図った。   | 作成するだけでなく、いざという時に使えるようにして、訓練の実施を行いながら改善を図っていく。         |
|                           | 【地域と連携した安全な環境整備】               |     | 交通安全教室や非行防止教室の実施など地域と連携した安全・安心の環境づくりを行うことができた。                                 | 今後も地域と連携した取組を行いながら日頃から、安全・安心を意識した生活を取り組ませる。            |
|                           | 【学校施設整備の充実】                    |     | 管理職の朝・夕方2回の見回り、全職員の月一度の安全点検を実施し、危険個所の早期発見に努めることができた。                           | 生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるようにしていく。                         |



## 教育委員会の活動状況に対する外部評価者の意見

| 学校教育（優先事項・具体的な施策）   |
|---|
| <p><b>【小学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校支援員の配置については、更にきめ細やかな指導が出来ていると思われる。途切れることなく予算化を図って欲しい。</li></ul>                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・グラウンドゴルフ大会について、今年度は天候、グラウンドコンディションの不良から中止となった。次年度は会場をダム公園のグラウンドゴルフ場にした方が良いのではないかと。</li></ul>               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・地域人材活用事業の小学校による源流米づくりの田植え作業への保護者の参加が少ないのが残念である。</li></ul>  |
|   |
| <p><b>【中学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・オンライン学習が不登校生徒にとって効果があったことは大変良かった。また、不登校生徒への家庭訪問を実施するなど、家庭の様子を見ながら対応していただきたい。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・「不登校」への対応の仕方について、ほっとリビング、ケアハウス、オンライン学習など、学校に代わる学びの場の確保について継続して実施していただきたい。</li></ul>                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・小・中一貫校について、現在どのような状況になっているのか。<br/>A：現在、基本構想をまとめている段階であることを説明</li></ul>                                     |
|   |
|   |
|   |

## 教育委員会の状況点検・自己評価

### 2 社会教育

#### (1) 優先事項

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

| No. | 項 目   | 評価 | 課題・対応策等  |
|-----|---|----|--|
| 1   | ジュニアリーダー等、町の次代を担う青少年が活躍できる場を多く設け、地域社会の一員であるという自覚と、多様化する時代を生き抜く力を養うための事業展開に努める。    | B  | 学校側との連携で数人ではあるが活動するメンバーを確保できた。今後もメンバーが途切れない工夫をしながら事業展開を実施していきたい。                       |
| 2   | 家庭教育は、すべての教育の出発点であることを再認識し、子供が、基本的な生活習慣や人に対する信頼感、基本的倫理観などを身につけるために、保護者向けの事業を展開する。 | A  | 移住者も多い中、各種講座の開催を通して、親子でのふれあいの場を作りながら、保護者同士の繋がりも作ることができた。参加状況もよく、関心も高いことから、今後も継続していきたい。 |
| 3   | 子供と地域の関わりを継続的に行うため、活動内容や人材育成の充実を図る。   | B  | 読み聞かせや子ども会の活動を通して、地域との関わりを深めている。今後は地域からの人材確保に力を入れたい。                                   |

## (2) 具体的な施策

(A:よくできている B:概ねできている C:改善が必要)

| 項目                      | 取組方針                      | 評価 | 事業名                         | 実施状況・課題   | 対応等   |
|-------------------------|---------------------------|----|-----------------------------|---|---|
| 1 生涯学習を推進する上での体制整備      |                           |    |                             |   |   |
| 1) 地域の特性を踏まえた<br>生涯学習体制 | 【特色ある事業計画と評価】             | B  | 社会教育職員の<br>会議及び研修           | ①社会教育委員の会議<br>②社会教育委員研修会<br>③大河原教育事務所管内社会教育委員連絡<br>協議会社会教育関係職員を対象とした会議の<br>実施及び研修会の参加   | 社会教育委員とともに出席した。   |
|                         | 【分館長・分館主事の役割と分館施設<br>の活用】 |    | 分館長・分館主事<br>の役割と分館施設<br>の活用 | 分館長・分館主事を対象とした会議の実施分館<br>施設の活用と管理<br>・地区ぐるみ講座<br>・地区利用(貸館)<br>・官公署利用(貸館)  | 町分館長・分館主事会議<br>・分館長 7名, 分館主事7名<br>・地区ぐるみ講座(干蒲)  |
|                         | 【図書利用の促進】                 |    | 図書利用の促進                     | 多目的交流棟なないる広場に図書コー<br>ナーを整備。・運営の検討<br>・町内図書関係機関による担当者打合せ<br>会議<br>保育所と小学校に出向き読み聞かせを行<br>う(本読み応援隊ボランティア)<br>読書推進事業・読書通帳, スタンプカード<br>の配布 | ・利用件数 753件 ・利用冊数 1,113<br>冊<br>・収集冊数 136冊 ・蔵書冊数 5,197<br>冊<br>・子どもの本展示会 来場数 150名<br>・図書担当者打合せ会 1回<br>・読み聞かせの実施 月1回程度<br>発行件数・読書通帳 17枚・スタンプカード<br>134枚 |

| 項目               | 取組方針           | 評価 | 事業名                      | 実施状況・課題   | 対応等   |
|------------------|----------------|----|--------------------------|---|---|
|                  | 【社会教育団体の育成・支援】 | B  | 社会教育団体活動への支援             | 社会教育関係団体の事業を助成<br>・町教育推進協議会<br>・町文化協会<br>・町子ども会育成会<br>・すばらしい七ヶ宿を創る協議会<br>・町スポーツ・文化振興会                         | ◆活動は、どの団体も継続している。   |
|                  | 【学社連携・協働教育の推進】 |    | 学社連携・協働教育の推進             | 協働教育事業会議及び研修会に参加<br>・会議(1日)<br>・研修会(1日)<br>地域学校協働教育事業の推進<br>家庭・地域・学校教育の支援体制、協働教育事業の推進(事業は「2特色ある社会教育事業の推進」に記載) | ○町教育推進協議会<br>◆継続できる協働教育の環境を実現するため、首長部局や保小中高等学校との連携による教育支援体制づくりを推進した。  |
|                  |                |    | 地域人材の活用(学校教育支援)          | ○地域人材活用事業(協働)<br>・七ヶ宿小学校<br>源流米づくりなど<br>・七ヶ宿中学校<br>職場体験など<br>(自慢の学校づくり補助事業)                                   | ◆新型コロナ感染対策のため中止となる事業もあるが、学校の総合の学習を中心に地域の方から協力をもらいながら活用してもらっている。ボランティア活動を広く町内に知らせる等、地域の活性化に役立て、地域人材の交流を続け地域の人の学習力を高めていきたい。 |
|                  |                |    | 【コミュニティ活動の支援】            | コミュニティ活動の支援   | ・コミュニティ助成事業(峠田)   |
|                  | 【ボランティア活動の支援】  |    | ボランティア活動の支援              | ボランティア事業の推進<br>(すばらしい七ヶ宿を創る協議会)<br>・ゴミクリーン活動<br>・花いっぱい運動<br>(本読み応援隊)<br>・本の読み聞かせ(協働)                          | ◆クリーン活動及び花いっぱい運動は、関係団体と連携して地域の環境整備を図ることができた。<br>本の読み聞かせ活動は新型コロナ感染防止による中止。   |
| 2) 生涯学習情報提供機能の整備 | 【情報の収集と効率的な発信】 | A  | 情報収集                     | 広報「しちかしゆく」による発信<br>「公民館だより」   | ◆毎月の情報を掲載し広く効率よく情報を発信できた。   |
| 情報発信             |                |    | 生涯学習情報誌「まめのき」、SNSによる発信   | 講座、講演会に関する情報を社会教育施設へ掲示、配布した。  |   |
| 行事予定表の作成・配布      |                |    | 行事予定表及び調整会議<br>・行事予定表の発行 | ◆関係機関の行事をまとめて全戸配布を行った。  |   |

| 項目              | 取組方針         | 評価 | 事業名              | 実施状況・課題  | 対応等   |
|-----------------|--------------|----|------------------|--|---|
| 2 特色ある社会教育事業の推進 |              |    |                  |  |   |
|                 | 【家庭教育事業の推進】  | A  | 未就学児講座           | ○子育て支援講座<br>・家庭教育支援講座(協働) 3回<br>・親子で人形劇を楽しむ会(協働)<br>・親子で遊ぶおもちゃワークショップ(協働)<br>○子を持つ保護者の交流会<br>・「ぼっぼクラブ」(父母等を対象とする交流会)(協働) | ◆子育て支援講座は、各種事業に取り組んでいる。参加状況が良く、保護者の関心も高い。                                   |
|                 | 【青少年教育事業の推進】 |    | 親子教室             | ○親子ふれあい教室<br>・親子陶芸教室(協働)   | ◆親と子供が参加でき、形として残る講座として好評であった。体験できる講座もニーズが高いことから、町の資源を活かせる内容を組み立てていきたい。      |
|                 |              |    | リーダー研修講座         | ○ジュニア・リーダー研修<br>・初級研修会(協働)<br>・中級研修会(宮城県)<br>・技術研修会  | ◆初級研修会では、宿泊体験を復活し実施した。ジュニア・リーダーとして必要な知識・技能・態度を身につける研修に取り組んだ。                |
|                 |              |    | 少年の体験活動          | ○ジュニアリーダーサークル自主企画事業<br>・「ジュニア・リーダーと遊ぼう～」<br>①保育所園児との交流(協働)<br>②新年を祝う会(協働・共催)<br>③冬期間の体験(協働・共催)                           | ◆参加者からジュニア・リーダーとの交流が楽しく、今後の事業に参加する意識が高い。                                    |
|                 |              |    | ジュニア・リーダー活動の推進事業 | ○サークル活動の支援<br>・定例会<br>会 員(19名)   | ◆ジュニア・リーダーは年々減少しており、1年生の加入が3名に留まった。技術の継承やレベルアップを図り、事業継続を目指していきたい。           |
|                 |              |    | 青少年健全育成活動        | ・県青少年育成指導推進員(2名体制)   | ◆任期は、令和6年度までとなる。  |
|                 |              |    | 第74回成人式          | ○成人式<br>第1部(式典)<br>○成人式実行委員会<br>委員(5名) 4回  | ◆前年に引き続き青年が中心となり、式典では成人式の運営、企画、制作に取り組んでくれた。新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、実行委員5名により実施した。 |

| 項目                  | 取組方針            | 評価 | 事業名          | 実施状況・課題   | 対応等   |
|---------------------|-----------------|----|--------------|---|---|
|                     | 【成人教育事業の推進】     | B  | 成人講座         | ○地区ぐるみ講座(干蒲)<br>○成人講座<br>・セッ宿焼体験講座 1回<br>・自彊術 1回<br>・レザーの小物入れづくり講座 2回<br>○女性講座<br>・スワッグ講座 1回<br>・自彊術 1回<br>・ミモザのブーケづくり講座 1回 | ◆成人及び女性を対象にした講座は、町内で活動している団体等の協力があり、概ね実現できた。<br>成人・女性全体では、20代～70代の年齢層で幅広く参加しており、いずれも内容に満足し、作品を製作している。   |
|                     | 【高齢者教育事業の推進】    |    | 豊齢者大学        | ○豊齢者大学・クラブ活動<br>①開講式、閉講式<br>②ディスコンクラブほか   | ◆基本午前中の開催で実施した。感染が一時期広がり実施できない事業もあった。   |
|                     |                 |    | NO!ポッチ運動     | ○高齢者世帯支援会議<br>(郵便局, 小中高等学校, 社協, 役場) 手紙運動128世帯) (協働)   | ◆児童・生徒による手紙運動、関係機関によるあいさつ運動を行っている。また、手紙を受け取った高齢者が児童・生徒へ返信できる、社会福祉協議会のサポート事業も順調に機能している。  |
| 3 芸術文化の振興と文化財の保護・伝承 |                 |    |              |   |   |
|                     | 【芸術文化活動の振興】     | B  | 芸術文化         | ○音楽事業<br>・学校音楽祭(協働)<br>・青少年劇場小公演(後援)<br>○演劇事業<br>・人形劇を楽しむ会(協働)<br>○一般(実行委員会)<br>・ふるさとまつり                                    | 学校音楽祭は盛大に開催。<br>◆音楽事業では、オペラを鑑賞し、本物の芸術に触れることができた。児童、生徒も真剣に聴き入っている様子であった。<br>◆演劇事業では、等身大の人形が繰り広げる劇の臨場感に圧倒されたが、終演後の「楽しかったですか」の問いかけに多くの手が挙がっていた。<br>◆ふるさと祭りは哀楽の雨だったが盛大に開催された。移住者交流もあり好評を得た。 |
|                     | 【文化財の保護・整備】     | B  | 文化財の保護・整備・活用 | ○文化財保護委員会 2回<br>○町指定文化財の保護・活用<br>・町指定文化財 5箇所<br>○埋蔵文化財の活用<br>・小学6年生の授業に出土土器の展示、説明   | ◆文化財保護委員会で、文化財保護等の協議を進めている。<br>天然記念物大峰桜は、周辺の環境整備を行い、日当たりと風通しを良くした。また、史跡湯原城跡と古谷館跡は、地区の協力を得て、周辺の環境整備を行った。   |
|                     | 【水と歴史の館の有機的な運営】 |    | 特別展の開催       | ・ひな人形とつるし飾り展<br>「ORADAZUの雛まつり」  | ◆町社協・町観光協会・ジュニア・リーダー等との協力を得て開催し、集客を図った。   |

| 項目              | 取組方針            | 評価 | 事業名            | 実施状況・課題                                     | 対応等  |
|-----------------|-----------------|----|----------------|---|--|
| 4 生涯スポーツ推進体制の整備 |                 |    |                |   |  |
|                 | 【生涯スポーツ推進体制の推進】 | B  | 生涯スポーツ推進体制の整備  | ○スポーツ推進委員 5名<br>○社会体育推進員 8名<br>○スポーツ推進会議 2回 | ◆スポーツ推進会議で、生涯スポーツ事業について協議を行っている。                                   |
|                 | 【生涯スポーツ事業の推進】   |    | 七ヶ宿総合スポーツ祭     | ○家庭バレーボール、ボッチャ、卓球バレー                        | 運動不足解消や、住民同士の交流につなげることができた。  |
|                 |                 |    | 町民体育大会         | ○町民体育大会<br>(実行委員会)                          | 4年ぶりの開催となり、町民が一堂に会し、地区や年齢に関係なく住民同士の交流ができた。実施種目の見直しを行い、午前中のみで開催とした。 |
|                 |                 |    | 町長杯グラウンド・ゴルフ大会 | ○町長杯外グラウンド・ゴルフ大会(後援)                        | 参加者からも好評で開催できた。イベントが立て込んでおり時期の検討をしている。                             |
| 5 安全・快適な学習環境の整備 |                 |    |                |   |  |
|                 | 【社会教育施設の管理】     | B  | 社会教育施設の管理      | ○湯原コミュニティセンター屋根塗装工事<br>○峠田体育館照明LED交換工事      | 施設の老朽化が進む中、計画的に実施している。暑さ対策が急務である。                                  |

## 教育委員会の活動状況に対する外部評価者の意見

### 社会教育（優先事項・具体的な施策）

・生徒数の減少によるジュニアリーダーの確保も大変であると思われる。今後も事業の展開を願う。

・「No!ぼっち手紙運動」は高齢者の方々にとって生き甲斐や励みになっていること、すばらしい事業であると思う。

・運営活動の内容が分かりやすくいろいろと積極的に取り組んでいる様子が伺える。

・ゴミクリーン活動における若い人の参加が少ない、又移住者の方々の参加も少ないのが残念である。